

北陸電力グループにおけるERPパッケージの導入と経理・給与業務の集中処理について

平成14年3月14日
北陸電力株式会社

1. ERPパッケージ導入について

当社は、昨年3月からIT(情報技術)を活用したERPパッケージによる統合基幹業務システム開発を行ってきました開発はこの3月末に完了し、4月からシステムの運用を開始する予定です。

当社は、かねてより業務プロセスの見直し(BPR)による効率化を進めてきましたが、電力自由化時代を迎え、グループをあげて一層の業務改革を推進する。
各事業分野の自律的な業務改革・意識改革に資する迅速な情報提供を目指す。
今後拡大することが予想される電子商取引に向けた社内情報基盤整備を図る。
ことなどを目的として、国際標準の業務プロセスを組み込んだ統合パッケージソフトであるERPパッケージを導入することにしたものです。

なお、今回のERPパッケージの導入に際しては、電力本体だけではなく、連結子会社も対象とした点や、会計領域のみならず工事計画、購買、設備保全など現時点では最も広い領域で開発した点が特徴であると考えております。

(参考) ERP (Enterprise Resource Planning)パッケージとは

ERP(生産、販売、物流、財務、人事など企業の基幹業務を組織横断的に把握し、全社的に経営資源の活用を最適化する計画管理のための経営手法)の概念を実現するための国際標準の業務プロセスを組み込んだ統合パッケージシステム。

当社グループにおけるERPパッケージの導入の概要は以下のとおりです。

(1) 導入範囲とシステム構築の内容

a. 経営支援システム

事業分野別管理に資する支援情報(事業分野別財務諸表、予実算対比表等)の提供

業務単位でのコスト(Activity Based Costing)情報の提供

b. 会計システム

・以下のシステムとの連携による決算早期化への対応

c. 工事計画管理 購買システム

・工事計画立案から発注、契約、清算に至る業務の一貫処理による業務の効率化

d. 設備保全システム

・火力発電、水力発電、送変電、通信設備に関する情報の一元管理、保全実績データの統計的管理による保全のPDCAサイクルの充実

e. グループ経営支援システム

・連結対象子会社各社の経理 給与 購買 販売業務に関する共通システム基盤導入

(2) システム運用開始時期

平成 14年 4月1日 (設備保全システムは平成 15年 4月予定)

2. 経理 給与業務集中処理について

当社は、平成 12年 7月に、グループの収益拡大と効率化の観点から、子会社の事業体制再構築を行い、その一環として、子会社の経理業務の集中化を実施してまいりました。今回のERPパッケージによる子会社共通システム整備に合わせ、対象会社を 8社から 14社に拡大するとともに対象業務も経理業務のほか給与業務を加えることとし、本年 4月から、当社の全額出資子会社である北電パートナーサービス(株)にて集中処理することいたしました。

経理 給与業務集中化の概要は以下のとおりです。

(1) 対象業務

a. 経理業務

決算および出納等の経理関係業務

b. 給与業務

給与計算、所得税および社会保険関連等の給与関係業務

(2) 対象会社

富山共同火力発電、福井共同火力発電、日本海発電、
富山共同自家発電、北電テクノサービス、北陸発電工事、
日本海コンクリート工業、北電産業、北電情報システムサービス、
北電アクト、北電パートナーサービス、日本海環境サービス、
北電技術コンサルタント、ジェスコ (以上 14社)

下線の各社は既に北陸電力㈱で集中処理を実施している会社 (8社)

(3) 集中処理開始時期

平成 14年 4月 1日

以上

(参考)集中処理を実施する会社の概要

会 社	北電パートナーサービス()
設立年月日	平成 2年 7月 2日
取締役社長	荒木哲也 (北陸電力(株)常務取締役)
資本金	20百万円
株 主	北陸電力(100%)
主な 事業内容	・電力設備の保守 ・電力関連施設の運営 ・北陸電力グループ各社への融資等
売上高	1,653百万円 (平成 12年度)
従業員数	287人 (平成 13年 3月末現在)

平成 12年 7月 1日、北電アルフ(株)より社名変更。

ERPパッケージ導入による効率化の推進

